

## ★アイナル通信 (第66号)★

「発行者」アイナル不動産センター広報係

いわき市内郷御殿町四

丁目110の

1Tel: 0246 (45) 2344

inal@poppy.ocn.ne.jp  
http://inal-f.com



## パソコン選び

現在使用しているパソコンは購入して六年目になる。

ハードデスクも容量がいっぱいになってきた。動きも鈍い。

動画系ソフトなど、新たなシステムを導入したので余計そう感じるのかも知れない。

ネットで購入するのも可能なのだが、どうも顔の見えない、声の聞こえないところから買おうとはあまり思わない。

買うとき(注文するとき)は、とても便利なのだが、ちょっとした不具合などが生じた場合の、問合せ、アフター等になると、まず電話に人が出ない。

自動アナウンスが流れて、その案内に従って待っていると「ただいま込み合っておりますのでもう一度おかけ直してください・・・」。そんな場面にしょっちゅう突き当たる。

仕方がないのでメールで問い合わせすることになるのだが、「よ

くある質問」など、読んでみようとする大量の文字、言葉があふれていて、読む気がそがれる。

そんな経験を何度かしたものだから、実際にもものを見ることができ、質問や確認もできるリアル店舗に足を運ぶことにしたのだ。

まずは、パソコンの性能(スペック)を確認しようと、価格と一緒に掲示されているポップを見ても良くわからない。

大きな看板でイラスト付きでの比較表があるのだがやっぱり???

店員さんに聞いて説明していただいてなんとか理解。決めるポイントが絞られてきた。

最新OFFICEソフトが付いていること

。CPU(人間の頭脳にあたる部分)性能が高いこと。

記録容量が大きいこと。不要なソフトが入っていないこと。価格が予算内であること。

不具合が生じたとき、しっかりフォローしてもらえること(もらえそうなこと)。

パソコン関係の言葉は英語(カタカナ)表現が多く、理解するのに難儀する。業界用語とでも言うのか、アメリカ用語とでもいうのか?頭がクラクラするのだ。

まさに情報産業はアメリカの圧倒的な一人勝ちの世界のようだ。

ただ、あまりにも独占度が高く個人情報収集度合いが高すぎるた

めに、(税金逃れの手法も問題)、他の国々も規制の網をかける方向性を打ち出しつつあるようだ。

情報を独占されることは、多くの民衆、国家においては歓迎されることではなく公共の福祉からも問題が多いのかも知れない。

通信技術が5G(第5世代)の時代に入り、ますます世の中のサービスが進化(変化)するという。

果たしてこの流れについていけるものやらどうやら。

今でさえアップアップしているのに、また、次かよという感じなのである。

しかし、もうあくせくするのは止めたい。変化はしょうがない。

変化を感じつつ学びを止めないことが肝心だ。

とりあえず、候補機種を絞って、あとはメーカー選択となるのだが、日本製は総じて高い。

アフターがしっかりしているのが強みのようだが、スペックは外国製品が優る。

どの機種も中身(部品)は中国で製造されており、表看板が異なるだけのようだ。

パソコンの機能を限界まで使っている人は非常に少なく、ほとんどのユーザーは数パーセント程度の使用率だと言われる。

それでも数字の良いものを選びたがるのは何故でしょう?